

シンポジウム「遺棄および老朽化学兵器の爆発リスク及び爆破処理技術の安全性」の開催
について

1. 主 催 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
2. 共 催 化学工学会、安全工学会、火薬学会、
アメリカ機械学会 (American Society of Mechanical Engineers / ASME)
3. 協 賛 日本機械学会
4. 日 時 平成 21 年 3 月 23 日 (月) 14 : 00 ~ 17 : 30
5. 場 所 日本学術会議 6 - C (1, 2) 会議室

6. 開催趣旨

今回のシンポジウムでは、化学弾の取り扱い及び廃棄処理の候補技術として有望視されている爆破処理に関する爆発リスクとその低減について内外の専門家により議論することを目的とする。

特に ASME は世界に先駆け昨年「衝撃荷重を受ける容器」の設計コードを世に出した。今回、設計コードの必要性及びその内容など、リスクの低減に関する海外の最新動向などもテーマに加え ASME との共催とする。

7. 次 第

開会あいさつ：古崎新太郎（東京大学名誉教授、日本学術会議連携会員）

I 講 演（14 : 00 ~ 17 : 00）（題名及び講演者は予定）

- 1) 「中国プロジェクトの現状と爆破処理技術の適用」（内閣府遺棄化学兵器処理担当室）
- 2) 「ASME Code Case 2564（衝撃を受ける圧力容器設計基準）制定の背景と必要性」（ASME、Dr. R. Nickell）
- 3) 「Code Case 2564（衝撃を受ける圧力容器設計基準）の概要」（ASME、Dr. E. A. Rodriguez）
- 4) 「爆発時の爆風及び飛散物による被害の軽減対策」（独）産業技術総合研究所安全科学研究部門爆発安全研究コア、久保田士郎）

5) 「ガス爆発の事例と安全性 (財) 安全工学会)

6) 「制御爆破システム —その実績と今後の課題」(Royal Military Academy of Belgium、Prof. M. Lefebvre)

II 総合討論 (17:00~17:30)

閉会あいさつ： 水野光一 (独) 産業技術総合研究所環境管理技術研究部門研究顧問

参加申込方法

E-mailもしくはFaxにて必要事項 (氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス) をご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

(株)神戸製鋼所 CWDプロジェクト部 主監 朝比奈 潔

E-mail: asahina.kiyoshi@kobelco.com Fax: 078-261-7052